

新渡日の児童への初期指導計画

〇〇市立〇〇小学校

週	生活適応	あいさつ・号令・自己紹介
第1週	<p>学校案内 (トイレ・シューズロッカー・保健室・職員室・特別教室・各学年教室)</p> <p>学校生活 — 持ち物・服装・時程表・時間割</p> <p>給食 — 持ち物・配膳・片付け・当番・好き嫌い(減らす)・分量(残す)</p> <p>清掃 — 場所・用具とその使い方</p> <p>休み時間の過ごし方</p> <p>時間割表の見方 — 教科の名称と教科書</p> <p>登下校 — 登校時刻・通学路・近くに住む友達</p> <p>*時期を見て体操服や学習用具(習字道具・絵の具セット・リコーダー等)</p>	<p>日常のあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おはようございます」 ・「こんにちは」 ・「こんばんは」 ・「さようなら」 <p>お礼とおわび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」 ・「ごめんなさい」 <p>授業のあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きをつけ」 ・「礼」 ・「おねがいします」 ・「ありがとうございました」 <p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしは〇年〇組の〇〇〇〇です。〇〇から来ました。よろしくおねがいします。」
	サバイバル日本語	文字
第2週 ～ 第5週	<p>*「日本語学級1 初期必修の語彙と文字」(波多野ファミリスクール 大蔵守久著 凡人社発行)の第1章1～30を参考に</p> <p>〇いい・だめ 〇えんぴつ・けしごむ 〇ある・ない 〇かず1～10 〇いる・いない 〇ぼく・わたし 〇11～20 〇きて・みて・よんで 〇こう・ちがう・そう 〇10・20・30 〇なんようび 〇きのう・きょう・あした 〇わかる・わからない 〇いたい 〇でんわ 〇いる・いない 〇わすれた・かして・ありがとう</p>	<p>*「ひらがなのおけいこ」(1年生用) *「にほんご だいすき1-ワークブッカー」(むぎ書房)</p> <p>ひらがな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清音 ・ひらがな五十音 ・濁音 ・半濁音 ・促音 ・拗音 ・拗長音 ・長音

	日本語文型練習（第1期）	文字・漢字・音読練習
第6週 ～ 第20週	<p>*「ひろこさんのたのしいにほんご 1」（凡人社） *「ぶんけいれんしゅうちょう」（凡人社）</p> <p>○日本語文型 ○時計 ○お金 ○家族 ○数え方</p>	<p>*「カタカナのおけいこ」（1年生用）</p> <p>カタカナ</p> <p>漢字</p> <p>*1年生の漢字から練習</p> <p>音読</p> <p>*単元の漢字学習が終了すると、該当の単元の音読練習</p>
	日本語文型練習（第2期）	国語科学習への移行
第21週 ～ 第32週	<p>*学年・個人差（漢字圏・非漢字圏、能力等）に応じて国語科学習に移行する。</p> <p>*低学年ほど、早期に国語科学習へ移行する。</p> <p>○日本語文型練習</p> <p>*「ひろこさんのたのしいにほんご 2」（凡人社） *「ぶんけいれんしゅうちょう」</p>	<p>*各学年の国語科学習へ</p> <p>書くこと</p> <p>*書くことは特に困難を要するので、ていねいに指導していく。</p>

*指導上の留意点

- 「ひらがなカルタ」・「カタカナカルタ」・「漢字カルタ」等を活用し、楽しく学習できるようにする。
- 日常生活に必要な「日にちの数え方」・「数の数え方（助数詞）」等はカードにして、繰り返し練習できるようにしておく。
- 「今月の歌」等、歌を通して日本語に親しめるように配慮する。
- 日本語の習得状況に応じて、「日記」（書くこと）、「今日のニュース」（話すこと）を導入していくようにする。